

道路整備課

1 滋賀県における道路の整備方針

人口減少や高齢化、激甚化・頻発化する災害への備えや新型コロナウイルス感染症をきっかけとした新生活様式へのシフトなど、本県の道路を取り巻く状況が大きく変化しています。

こうした情勢変化や「滋賀県都市計画基本方針」などの関連計画を踏まえ、『滋賀県基本構想』の基本理念である「変わる滋賀 続く幸せ」の実現に向け、すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備を目指しています。

目指すべき
将来像
実現のための
道路整備

～すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備を目指して～

「県内外の拠点間ネットワークの強化」と
「安全で快適に移動や滞在ができる道路空間の創出」

拠点“間”ネットワーク整備

県内外の拠点を結ぶ道路ネットワークを形成することで、人やモノの移動の円滑化や安全性の向上を図り生産力向上に寄与する道路網とします。

また、既存施設の機能強化等により、移動の効率化を図る道路網を形成します。

拠点“内”の道路空間整備

県民の日々の生活を支え、拠点内の安全・安心な移動を実現する道路空間を形成します。車中心から人中心の視点で、多様な移動ニーズに対応するマルチモーダルな移動環境の実現や移動だけでなく滞在など多様な利用を可能にし、活力と賑わいをもたらす道路空間を形成します。



人中心の道路空間創出



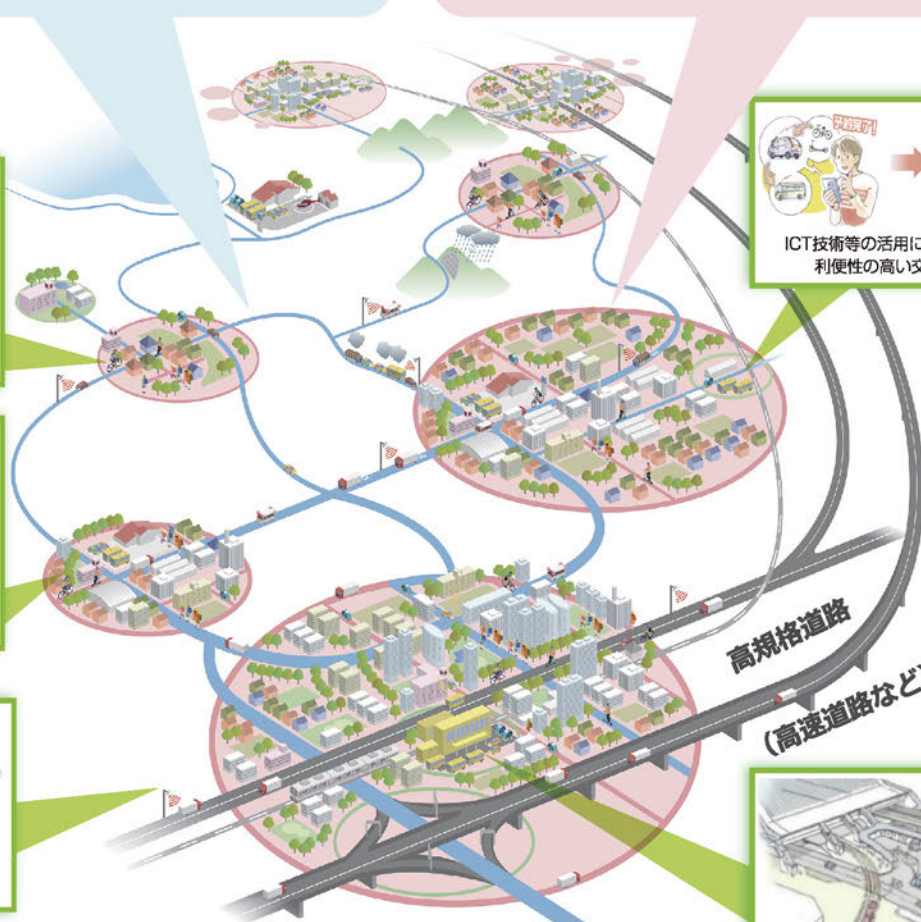
にぎわいと交流の場の創出



新技術に対応した
道路交通情報システムの構築



ICT技術等の活用による効率的で
利便性の高い交通の確保



マイカーに頼りすぎないための道路整備

2 道路整備の取組

拠点“間”ネットワーク整備



大津能登川長浜線（山手幹線）（草津市・栗東市）

国事業の高規格道路「栗東水口道路」と一体となって湖南地域の県土幹線軸を構成するとともに、国道1号のバイパス機能を有する道路です。主要渋滞箇所を避けられ、移動時間短縮による物流の効率化や地域間交流の活性化などに寄与することを目指しました。



近江八幡守山線（大津湖南幹線）（守山市・野洲市）

湖南地域の混雑解消と、県土の南北軸を形成することによって、防災機能の向上、地域間交流の活性化に寄与することを目指しました。今回開通区間は、守山市川田町から野洲市八夫地先までを繋ぐバイパス道路として整備し、新たな道路ネットワークを形成するとともに、付近の野洲川を渡る交通の転換を図るものです。

拠点“内”の道路空間整備



大津能登川長浜線（守山市）

道路を一方通行にして、歩行空間を広げました。



野洲停車場線（野洲市）

無電柱化によって、災害に強く開放感ある景観を形成しました。



国道421号（東近江市）

地方部の移動手段確保や観光誘致の一環として、関係機関と連携し、自動運転を活用したまちづくりを支援します。



八日市停車場線（東近江市）

市と協力して、歩道上に人が滞在できる賑わいの空間を創出しました。